

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書 1歳児クラス

## テーマ 『透明な水に関わる中での発見』

### 《テーマ設定理由》

例年の水遊びの様子を見ているとどうしても「泥」が混じってしまい、水本来の美しさや透明だからこそ感じる面白さに触れてほしいと感じたため。

### 《環境設定・準備したもの》

透明ケース、透明バケツ、R1容器、れんげ、おたま  
目の高さが丁度良いテーブル、泥場ではなくコンクリートの上に水遊びコーナーを作り少人数で活動をする。

### 《活動スケジュール》

7月3・4日	透明な水に触れる中でどんな気付きが生まれるのか観察(2クラス同じ内容)
7月24日	透明な水に透ける、色が変わる面白さ(2クラス同じ内容)
7月28日	低月:水の流れや動きを楽しむ 高月:自然物を取り入れた遊び

### 《振り返り・気付き》

普段、土の上で遊んでいたため、水遊びをしてもすぐに砂や土が入り、透明な綺麗な水を感じる活動が少なかった。しかし今回の活動を通してまず、「水の美しさ」を目で感じたり、綺麗な水だからこそ「触れてみたい」と心が動き、普段の水遊びよりも個々で集中して遊ぶ姿を見ることが出来た。透明な水に色の付いた素材を取り入れることで、透明との違いに気が付いたり、月齢によって「浮く面白さ」や水の流れを観察する面白さに繋がっていた。

### 《活動内容・子どもの様子》



活動1:透明な容器・R1容器・おたまやれんげを用意して

子ども達が何に魅力を感じるのかを観察した。

・容器に手を入れ水に触れることを楽しんだり

R1の容器で水をすくって移し替える、おたまで

すくった水を地面にまいたりして泥が混じらない

綺麗な水だからこそ丁寧に水を使って遊ぶ姿を感じた。

活動2:綺麗な水と活動1と同様の道具+  
色水の入ったペットボトルや色のついている  
玩具(チップやチェーン)を用意。 →



透明な水に色のついた玩具やペットボトルを入れると、水には色が見つからない不思議さを感じていたり、ペットボトルの蓋をあけて、色水を出そうとしている姿もあった。玩具を水に入れる遊びから高月齢のお友だちは地面に落ちていた葉っぱを浮かす遊びも始める。

活動3:低月は水の流れを楽しめるような雨樋やチェーンなどを用意。

高月は自然物を用意して、水に取り入れる遊びを行う。

雨樋にチェーンを流して遊ぶ一方で、コップで注いだ水をバケツに入れながら、水が溢れるぎりぎりの様子を楽しむ姿も見られた。

